

円居

まどぬ

令和5年4月13日(木)
備前市立備前中学校
校長 藤森 卓麻
0869-64-3365

備前中に新しい春、到来

穏やかな春の日差しに包まれて令和五年度がスタートし、十一日には11名の新入生を迎えることができました。

「・・・まだまだ未熟な私たちですが、どうぞよろしく願っています。」

新入生代表生徒の『誓いの言葉』に、我も気が引き締まりました。上級生たちも、歓迎の気持ちを素晴らしい態度で表現して



くれました。ワクワク感と緊張感が入り交じるこの季節、やる気と希望に満ちあふれている子もいれば、不安いっぱいの子もいると思います。皆がよいスタートを切れるよう、生徒たち一人一人と丁寧に向き合いながら歩みを進めていきたいと思います。どうかよろしく願っています。

■一期一会ー令和四年度末人事異動ー

【転任】

- 岡部 高弘 (校長) 定年退職
- 小林 佳美 (英) 退職
- 山口 英彦 (県教育庁教育情報推進室)
- 佐伯 大輔 (理) 和気町・和氣中
- 服部 潤子 (養護) 備前市・伊部小
- 浮田 博子 (保体) 備前市・日生中
- 栗原 優岳 (社) 備前市・吉永中
- 雨森 勇人 (数) 備前市・伊里小
- 中山 美里 (保体) 備前市・片上小
- 剣崎 亮 (技) 岡山市・瀬戸中
- 【転任】
- 藤森 卓麻 (校長) 瀬戸内市・邑久中
- 小原 健嗣 (数) 岡山県生瀬学習センター
- 岡本 英樹 (理) 瀬戸内市・邑久中
- 片山 愛子 (英) 新採用
- 佐藤 雄紀 (技) 新卒・新採用
- 河原 由美子 (養護) 備前市・香登小
- 針原 翔 (保体) 備前市・日生中
- 青柳 迅哉 (数) 備前市・伊里中
- 脊尾 晴登 (理) 新卒
- 白川 友香 (保体) 兵庫県
- 在間 晋一郎 (授業改革推進) 備前市・伊里中

※週一日本校勤務

『歓迎の言葉』から(一部抜粋)

(4月11日 入学式)

私たちは皆さんのご入学を心待ちにしていました。今、皆さんは入学式を迎えられ、新しい場所での生活に期待や喜びがいっぱいだと思います。しかし、それ以上に不安もあるのではないのでしょうか。慣れない環境に加え、新型コロナウイルスによって入学説明会が前半、後半に分けて行われたため、同級生でさえ、初めて出会う人もいます。新しい環境に飛び込むときは、だれもが期待だけでなく、不安も同時に抱くものです。中学校生活で、わからないことや困ったことがあれば、私たち先輩に気軽に聞いてください。一緒に備前中学校での生活を楽しみましょう。そして、一日でも早く、たくさんの人と仲良くなり、楽しい青春を送ってください。これから始まる三年間は、皆さんが想像しているよりもとても早く、あっという間に過ぎていきます。嬉しいこと、楽しいこと、辛いこと、そのすべてをかみしめて、多くのことを学び、経験し、さまざまな壁を越えられるようになってください。

口先だけではないー自慢の上級生ー

入学式翌日から、早くも一年生は通常の生活となります。何もかもが小学校とは勝手が違い、初めてで慣れない一年生。給食の準備もそのひとつ。重いカゴや食缶を三階まで運び、限られた時間内に配膳を済ませないといけません。そこで登場するのが上級生。生徒会中央役員を中心に手伝いに入ります。「これはこっちに置いて：」「こんな時はこっちを先に：」「頼もしい限りです。当番が一回りするまでの約一ヶ月、自慢の上級生がサポートします。」

ポストコロナ期に向き合う

当初の予定を変更し、入学式に在校生全員で参加しました。ご迷惑をおかけしたかもしれませんが、「集まるな、近づくな、話すな：」というコロナ禍の中で学校という場所を考えたときに、人と人がつながる重要性にあらためて気づかされました。生徒同士が正しくつながったときには、単

同じ方向を目指す

学校教育目標(目指す生徒像)

自ら学び考える 心豊かで活力ある生徒

こんな人になるための力をつけさせたい、という我々教職員が同じ方向を向いて進むための目標です。

